

# Autodesk Inventor 環境構築





# Autodesk Inventor環境構築

構築しておくべき環境についての打ち合わせ及び作成

## ■作業内容

- テンプレート(図枠)作成
- プロジェクト設定
- スタイル構築
- Vault導入相談
- 購入品ライブラリ構成検討

### Inventor環境構築

Inventorを利用する環境の構築を行います。

テンプレートは設定を行う事で入力を容易に設定することが可能です。

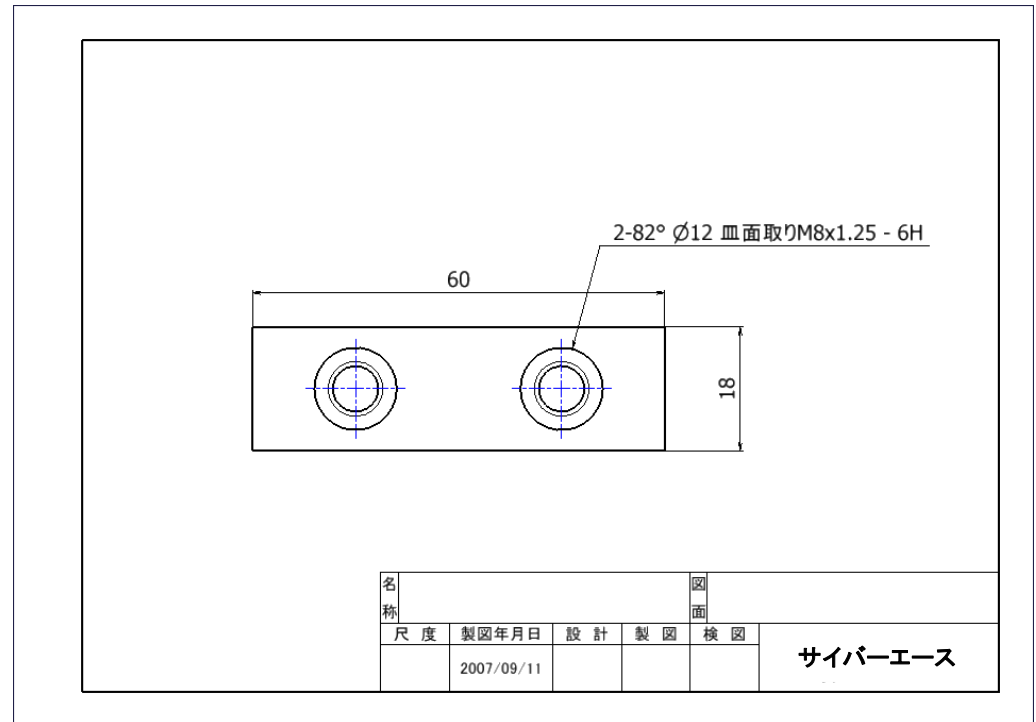
プロジェクトやスタイルはInventorをより効率的に利用する為に必要なものです。

また、Webからダウンロードできる購入品部品のデータの管理方法や、多人数の設計をフォローするVaultの検討などを行います。



# テンプレート(図枠)の作成

- Inventorで作成する図面の図枠を作成します。  
図枠スタイルの設定も行い、可能な限り図面作成手順の簡略化を行います。
  - 図面枠の作成
  - 表題欄の作成
  - 部品表スタイルの設定
  - 画層設定
  - 文字スタイル設定
  - 寸法設定



# プロジェクト設定

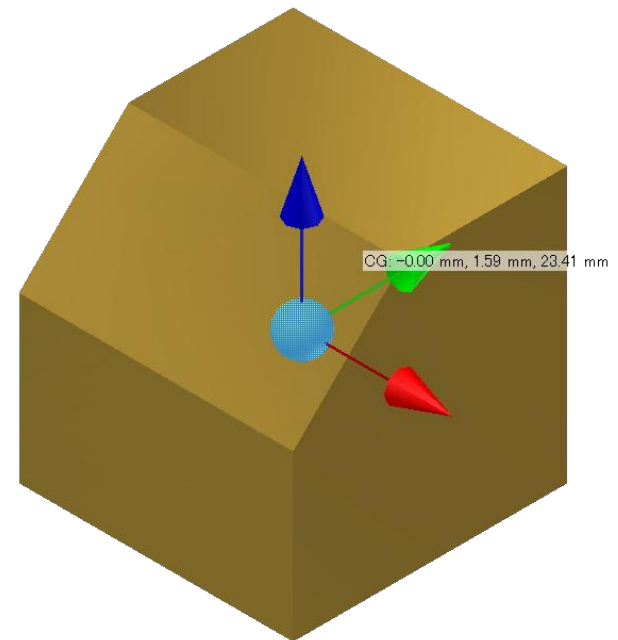
- プロジェクトはInventorを利用する上で欠かすことのできない概念です。  
プロジェクトを正しく設定できていない場合、様々なエラーの原因となります。  
必要な環境に合わせたプロジェクトを設定することにより、プロジェクトに起因するエラーの発生を未然に防ぎます。



# スタイル構築

- 部品の材質などの情報をInventorに登録します。  
設定した材料を設定する事で、部品の重量・重心を正確に算出させる事が可能となります。

一般的なプロパティ	
質量(S)	2219.500 g (相対誤差)
面積(R)	14014.214 mm <sup>2</sup> (相対誤差)
体積(V)	115000.000 mm <sup>3</sup> (相対誤差)
重心	
X	-0.000 mm (相対誤差)
Y	1.594 mm (相対誤差)
Z	23.406 mm (相対誤差)



# Vault導入相談

- 多人数設計のフォローや、バージョン管理、流用設計に適したVaultの導入を検討します。  
利用状況、利用人数などにより導入の必要があるか否か。  
また、導入する場合は何時頃から導入するかなどの検討を行います。



# 購入品ライブラリ構成検討

- 購入品データの管理方法を検討します。  
保存・保管方法、フォルダ構成など、Inventorと作業者の両方の視点から、運用に適した構成を検討します。